競技上の諸注意

１　競技規則

　　本大会は、令和６年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則により行う。

２　競技時間

1. ◎６月２９日（土）の試合は、関東クラブ選手権（男子）・社会人選手権（男女）ともにすべて２５分－（１０分）－２５分で行う。（第１延長後、７ｍTC（５人））

関東クラブ選手権(女子)リーグ戦での同点はそのまま終了とする。

◎６月３０日（日）のクラブ選手権男子の決勝「G」の試合は、２５分－（１０分）－

２５分で行う。（第１延長後、７ｍTC（５人））

クラブ選手権女子のc1、c2、c3は、２５分－（１０分）－２５分で行う。（７ｍTC（５人））

社会人選手権 代表決定戦男子「く」「け」・女子の「ク」及び 決勝戦男子「き」・決勝戦女子「キ」は３０分－（１０分）－３０分で行う。（第２延長後、７ｍTC（５人））

1. 全会場とも加算式の電光掲示を使用する。
2. 競技終了の合図はブザー又は笛で行う。
3. 退場者については、退場者電光掲示で番号と退場時間を表示する。

オフィシャル席から入場の指示はしない。

1. 電光掲示で表記するチーム名・得点は１試合を通して左右の変更はしない。
2. 試合は開始時刻通りに行う。

３　大会使用球

　　（公財）日本ハンドボール協会の検定球を使用する。

　　　　男子、ミカサ（ＨＢ３５０B－WBL）女子、モルテン（Ｈ２A５０００－Ｂ）を使用する。

４　競技会場

1. 館内は必ず体育館シューズを使用し、外履きと２足制を厳守すること。
2. 両面テープのみ使用可とする。

（黒色両面テープ使用不可）松ヤニ・松ヤニスプレーの使用も禁止する。

また、松ヤニの付いた練習球も使用不可とする。

1. アップについては、ボールの使用は試合終了後から試合開始までの時間を有効に活用し、各コートで行ってください。また、３Fランニングコースは使用可ですが、ボールの使用は禁止します。駐車場でのアップは禁止します。
2. ２９日(土)の選手の入館は８時３０分からとなっています。その際、サブエントランスからの入館となりますので、係の指示に従ってください。また、選手以外の入館及び

３０日(日)につきましては、全ての入館は９時からとなります。

５　トス・ユニフォームの確認等

1. 第１試合のトスは試合開始の３０分前に行う。第２試合以降は前試合のハーフタイム

時に行う。

1. ユニフォームは濃・淡２色を用意すること。
2. ユニフォームの確認はトスの時に行う。ユニフォームはすべて持参すること。
3. 役員・選手は、トス時に（公財）日本ハンドボール協会登録証を提出し、試合前に審判

員から本人の確認を受ける。なお、登録証には写真を必ず貼付しておくこと。

６　参加資格等

1. ベンチ入りは、役員４名、選手１６名までとする。役員登録されていないトレーナーに

ついては、指定場所で待機すること。ベンチ・コート内に入ることはできない。

1. ベンチに入る役員には、オフィシャルからＩＤカードを配付する。また、監督は「Ａ」

のＩＤカードをつけること。

７　裁定委員会及びＭＯ・ＴＤ

1. 本大会に裁定委員会を置き、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長その他の

大会役員関係者をもって委員会を構成する。必要があれば関係者（当該チームの選手

を含む）を同席させる場合もある。

1. 裁定委員会は、本大会において発生したすべての問題について審議し、その対応を決

定する機関である。

1. 本大会はすべての試合に、ＭＯ１名、ＴＤ２名を配置する。

８　諸注意

1. 競技中、交代地域、ベンチ後方でのボールの使用は一切禁止する。ボールは、ケース等

に収納しておくこと。

1. コールドスプレー等は、けが等で使用する以外はバッグ等に収納しておくこと。
2. ビデオの撮影は、各チーム１名のみ認める。体育館の電源の使用は禁止とする。
3. 体育館の使用に際しては、各都県代表選手としての自覚と誇りを持ち、マナー違反の

無いよう行動すること。

1. 車は定められた駐車場に駐車し、路上駐車などは絶対にしないこと。

(普通車はアリーナ東第２駐車場に駐車できますが、マイクロ、中型、大型バスは北・中央エリア駐車場への移動となります。)

９　その他

1. 開閉会式・代表者会議には、式典にふさわしい服装で参加すること。
2. 通過認定証について

・代表決定戦の勝利チームに通過認定証を授与する。

・認定証の授与は試合終了後、指定されたコートのオフィシャル席前で行う。

・該当チームは、オフシャル席前に横一列で並び、通過認定証を受領する。

1. 試合のビデオ撮影については、各チームで行うことと思いますが、十分にご配慮ください。